

2024年度 環境活動レポート

(対象期間 2024年6月1日 ~ 2025年5月31日)



2025年11月18日
篠崎木工株式会社

○ 目 次 ○

- 1.組織の概要
- 2.対象範囲
- 3.組織表
- 4.環境方針
- 5.環境目標
- 6.環境経営目標・活動計画及び実績表
- 7.環境目標の実績
- 8.環境負荷実績
- 9.環境活動の取組結果の評価、次年度の活動計画、次年度以降の中期環境経営目標
- 10.環境関連法規等の遵守の状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 11.代表者による全体の評価と見直し指示

1.組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

篠崎木工株式会社

代表取締役社長 篠崎 良三

2) 所在地

本社 栃木県佐野市大橋町1366番地
石塚工場 栃木県佐野市石塚町568番地
資材部 同上
藤岡工場 栃木県栃木市藤岡町都賀1363番地
足利工場 栃木県足利市寺岡町48番地1号
宮城工場 宮城県加美郡色麻町四竈字大原217番地11号
小山工場 栃木県小山市土塔560番地 (株)UACJ小山製作所 内

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 宮城工場 工藤 勇也 TEL 0229-65-5101 FAX 0229-66-1523

事務局 石塚工場 味村 信也
藤岡工場 畠山 常典
足利工場 岡村 貴幸
宮城工場 伊藤 祐司
本社 牧野 和博 TEL 0283-24-3055 FAX 0283-22-5318

4) 事業内容

住宅用木製鋼製部材の製造販売、輸入木材の販売、住宅関連設備の販売

5) 事業規模

売上高	5,877百万円 (2024年度(2024.6~2025.5、事業年度 令和7年5月期))		
従業員	201名 認証登録範囲対象事業所 162名		
敷地面積	本社	85㎡	足利工場 3,982㎡
	石塚工場・資材部	20,735㎡	宮城工場 8,517㎡
	藤岡工場	15,332㎡	小山工場 顧客工場内

2.対象範囲

篠崎木工株式会社の住宅用木製鋼製部材の製造販売、輸入木材の販売及び住宅関連設備の販売に関わる全ての事業を対象とする。

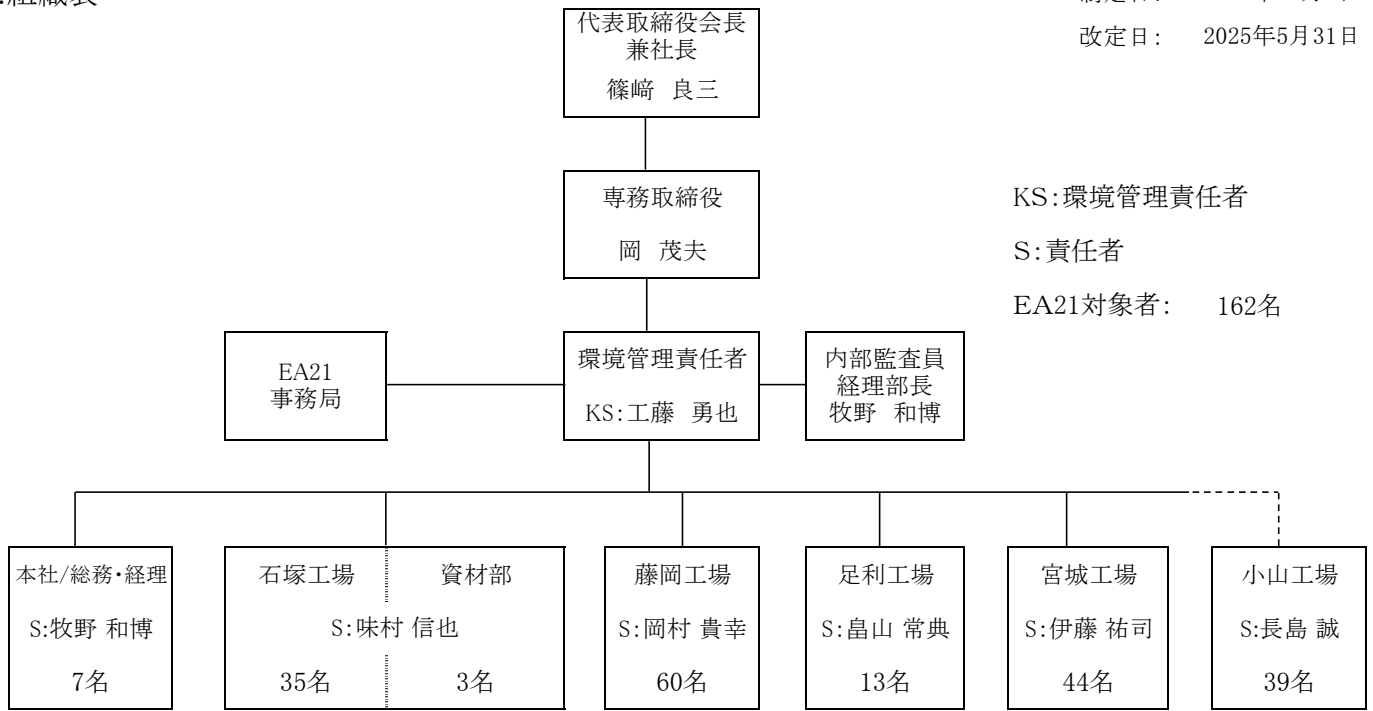
認証登録サイト	石塚工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	資材部	・輸入木材の販売、住宅関連設備の販売
	藤岡工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	足利工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売
	宮城工場	・プレハブ住宅用木製部材の製造販売、及び鋼製部材の製造販売
	本社	・経理、総務

顧客EMS管理下にある 小山工場 ・顧客工場内請負作業(アルミ製品の検査・梱包)

3.組織表

制定日： 2013年12月1日

改定日： 2025年5月31日



KS:環境管理責任者

S:責任者

EA21対象者: 162名

※1

※1 対象範囲外
小山工場は顧客EMS
管理下にある。

◎役割・責任表

責任者	役割
代表者 (社長及び専務)	1 環境方針を制定する 2 環境管理責任者を任命する 3 環境経営システムの全体の評価と見直しを行う 4 推進に必要な要員、技術、資金等を準備する 5 課題とチャンスを確認にする
環境管理責任者	1 環境経営システムの取り組みの実行責任者として活動を推進する 2 環境経営システムに必要な文書及び記録を承認する 3 環境への負荷及び取組の自己チェックの実施リーダー 4 環境目標及び活動計画を策定し、承認する 5 環境目標及び活動計画の達成状況や実施状況の確認と評価を行い、社長に報告する 6 環境関連法規の取りまとめ、最新チェック及び遵守状況の確認する 7 代表者による全体の評価と見直しのための情報を報告する
EA21事務局	1 EMS全体の活動を確認し、高環境作りをサポートする 2 EMS共通書類(文書・記録)の原本管理を行う
内部監査員	1 内部監査を実行する
責任者	1 部門ごとの活動計画を策定し、達成状況、実施状況を把握し、環境管理責任者に報告をする 2 部門ごとの教育訓練の実施リーダー 3 外部からの苦情や要望のを受け付ける窓口 4 文書、記録を管理する
社員	1 活動計画の担当者として実行する 2 システムで定めたルール、取り組み事項を自発的、積極的に実施する

環境経営方針

当社は持続可能な木製部材の生産を通じて
「調和のとれた快適環境の創造」を企業理念に
社員一人ひとりが、未来の地球環境を考え
今やるべき活動に取り組みます。

- (1) 環境経営システムを構築し、維持向上に努めます。
- (2) 環境経営に関わる活動を継続的に改善し、省エネルギー及び環境負荷の低減に努めます。
- (3) 環境関連法規制およびその他の要求事項を順守します。
- (4) 原材料である木材を大切に使用し、不良品を作る無駄を減らし、端材を有効利用します。
- (5) クリーンウッド法を適正に運用し、合法伐採木材の流通及び利用を促進します。
- (6) 生産活動より発生する不用品は、分別することで廃棄物を削減する。
- (7) この環境経営方針は、社内外の人に周知するとともに広く開示します。

令和6年1月5日

篠崎木工株式会社

代表取締役 篠崎 良三

5.環境経営目標（2022年度～2024年度）

1) 石塚工場・資材部

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に関する項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	3,634	基準年-0.5% 3,617	基準年-1% 3,597	基準年-1.5% 3,579
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	43 ※1	基準年-0.5% 35.19	基準年-1% 35.00	基準年-1.5% 42.36
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	64.39	基準年-0.5% 64.10	基準年-1% 63.75	基準年-1.5% 63.42
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	2,153	基準年-0.5% 2,143	基準年-1% 2,131	基準年-1.5% 2,121
廃棄物削減に関する項目	一般廃棄物 (単位:kg/千万円)	8.310 ※2	基準年-0.5% 7.171	基準年-1% 7.131	基準年-1.5% 8.185
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	597 ※1	基準年-0.5% 500	基準年-1% 497	基準年-1.5% 588
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	108	基準年-0.5% 102.14	基準年-1% 101.11	基準年-1.5% 100.09
	水使用量 (単位:m3/千万円)	3.292 ※1	基準年-0.5% 2.673	基準年-1% 2.658	基準年-1.5% 3.240
	化学物質使用量の制御 防腐液も客先指定濃度の達成	達成	達成	達成	達成
	事業項目・輸入木材の不良率低減(単位:%)	7.85	基準年-0.5% 7.815	基準年-1% 7.77	基準年-1.5% 7.74

* 電気の排出係数:0.523kgCO2/kWhを使用(令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数)

* 二酸化炭素排出量は2022年度の購入電力消費量(554,947kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位。

* 原単位は工場売上高当りである。

※1 是正処置に基づき、2023年度の実績を基準値に変更

※2 2024年2月～2024年5月の平均の数字を基準値に変更

5.環境経営目標（2022年度～2024年度）

2)藤岡工場

	項目:(原単位/千万円)	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に関する項目	電力消費量 (単位:kWh/千万円)	3,004	基準年-0.5% 2,989	基準年-1% 2,974	基準年-1.5% 2,959
	ガソリン消費量 (単位:ℓ/千万円)	5.61	基準年-0.5% 5.58	基準年-1% 5.55	基準年-1.5% 5.53
	軽油消費量 (単位:ℓ/千万円)	63.51	基準年-0.5% 63.19	基準年-1% 62.87	基準年-1.5% 62.56
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	1,763	基準年-0.5% 1,754	基準年-4.2% 1,689	基準年-4.2% 1,689
廃棄物削減に関する項目	一般廃棄物排出量 (単位:kg/千万円)	9.91	基準年-0.5% 9.860	基準年-1% 9.811	基準年-1.5% 9.761
	産業廃棄物(合板) (単位:kg/千万円)	491	基準年-0.5% 489	基準年-1% 486	基準年-1.5% 484
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	170.9	基準年-0.5% 170.05	基準年-1% 169.19	基準年-1.5% 168.34
水使用量の節減 (単位:m3/千万円)		22.02	基準年-0.5% 21.910	基準年-1% 21.800	基準年-1.5% 21.690
化学物質使用量の制御		必要なSDSを入手し維持管理する			
事業項目・カタ製木材の不良率低減 (単位:%)		6.7	基準年-0.5% 6.64	基準年-1% 6.60	基準年-1.5% 6.57

*電気の排出係数：0.523kgCO2/kWhを使用（令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

*二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量（571,003kWh）に排出係数0.523を乗じた原単位

*原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標（2022年度～2024年度）

3) 足利工場

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に 関係する項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	1,413	基準年-0.5% 1,406	基準年-1% 1,399	基準年-1.5% 1,392
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	8.86	基準年-0.5% 8.82	基準年-1% 9.00	基準年-1.5% 8.73
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	49.00	基準年-0.5% 48.76	基準年-1% 49.00	基準年-1.5% 48.27
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	999	基準年-0.5% 994	基準年-1% 989	基準年-1.5% 984
廃棄物削減に 関係する項目	一般廃棄物 (単位:kg/千万円)	2,759	基準年-0.5% 2,745	基準年-1% 3,000	基準年-1.5% 2,718
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	173	基準年-0.5% 172	基準年-1% 171	基準年-1.5% 171
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	242.07	基準年-0.5% 240.86	基準年-1% 239.65	基準年-1.5% 238.44
	水使用量 (単位:m3/千万円)	3,293	基準年-0.5% 3,277	基準年-1% 3,260	基準年-1.5% 3,244
	化学物質使用量の制御 防腐液の指定付着量の維持	—	維持	維持	維持
	事業項目 ・パネルの不良率を低減させる (単位:%)	0.0310	基準年-0.5% 0.0308	基準年-1% 0.0307	基準年-1.5% 0.0305

* 電気の排出係数：0.523kgCO2/k Whを使用（令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

* 二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量(55,458kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標（2022年度～2024年度）

4)宮城工場

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に 関係する項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	3,898	基準年-0.5% 3,880	基準年-1% 3,859	基準年-1.5% 3,840
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	18.27	基準年-0.5% 18.18	基準年-1% 18.09	基準年-1.5% 18.00
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	91.64	基準年-0.5% 91.18	基準年-1% 90.72	基準年-1.5% 90.27
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	2,036	基準年-0.5% 2,026	基準年-1% 2,016	基準年-1.5% 2,005
廃棄物削減に 関係する項目	一般廃棄物 (単位:kg /千万円)	8.360	基準年-0.5% 8.318	基準年-1% 8.276	基準年-1.5% 8.235
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	203	基準年-0.5% 202	基準年-1% 201	基準年-1.5% 200
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	236.00	基準年-0.5% 234.82	基準年-1% 233.64	基準年-1.5% 232.46
	水使用量 (単位:m3/人)	0.750	基準年-0.5% 0.746	基準年-1% 0.743	基準年-1.5% 0.729
	化学物質使用量の制御 防腐液の客先指定濃度の維持	—	維持	維持	維持
	事業項目 ・内壁枠不具合の低減(単位:%)	0.03	基準年-0.5% 0.0299	基準年-1% 0.0297	基準年-1.5% 0.0296

* 電気の排出係数:0.523kgCO2/kWhを使用(令和3年度公表の大和ハウス工業の排出係数)

* 二酸化炭素排出量は2021年度の購入電力消費量(294,845kWh)に排出係数0.523を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

5.環境経営目標 (2022年度～2024年度)

5) 本社

	項目	2021年度基準 (2021年6月～ 2022年5月)	2022年度目標 (2022年6月～ 2023年5月)	2023年度目標 (2023年6月～ 2024年5月)	2024年度目標 (2024年6月～ 2025年5月)
二酸化炭素削減に関する項目	電気使用量 (単位:kWh)	12,664	基準年-1% 12,537	基準年-2% 12,411	基準年-3% 12,284
	ガソリン使用量 (単位:ℓ)	4,516.02	基準年-1% 4,470.86	基準年-2% 4,425.70	基準年-3% 4,380.54
	灯油使用量 (単位:ℓ)	125.00	基準年-1% 123.75	基準年-2% 122.50	基準年-3% 121.25
	液化石油ガス(LPG)使用量 (単位:kg)	6.62	基準年-1% 6.55	基準年-2% 6.49	基準年-3% 6.42
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO ₂)	16,540	基準年-1% 16,375	基準年-2% 16,209	基準年-3% 16,044
削減に棄 項関物 目係削	一般廃棄物 (単位:kg)	268	基準年-1% 265	基準年-2% 263	基準年-3% 260
	水使用量 (単位:m ³)	82.6	基準年-1% 81.8	基準年-2% 80.9	基準年-3% 80.1

* 電気の排出係数:0.452kgCO₂/kWhを使用(2021年公表の東京電力の排出係数)

* 化学物質の使用はない為、目標として取り上げていない

6.環境経営目標・活動計画及び実績表(2024年度)

石塚工場・資材部 2024年度 環境目標・活動計画及び実績表

作成日:2024年7月31日



中期目標(2024年度)	2024年度目標 (2023.6.1~2024.5.31)	施策(対策)	取組内容	月												担当者	責任者		
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5				
電力消費量 3,579kWh/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 3,634kWh/千万円	電力消費量 3579 1.5%削減	節電意識の徹底 (共通) <事務所> <工場内> ※その他、手順書を参照	昼休みの消灯	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	永井		
			エアコン温度設定表示	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	永井	
			設備使用後は、スイッチOFF	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員
			生産率向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	安藤
ガソリン消費量 42.36L/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 43L/千万円	ガソリン消費量 42.36L/千万円 1.5%削減	エコドライブの推進 ※その他、手順書を参照	アイドリング・ストップ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員		
			不必要なスピードは出さない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員	
			急発進・急停止を避ける。	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員
			社用車の燃費の把握	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員
軽油消費量 63.42L/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 64.39L/千万円	軽油消費量 63.42L/千万円 1.5%削減	エコドライブの推進 ※その他、手順書を参照	アイドリング・ストップ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員		
			不必要なスピードは出さない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員	
			急発進・急停止を避ける。	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員
			フォークリフトの燃費の把握	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員
一般廃棄物排出量削減 8.185kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 8.310kg/千万円	一般廃棄物排出量削減 8.185kg/千万円 1.5%削減	ペーパー製の削減 ※その他、手順書を参照	ペーパーレス推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	業務課		
			現在の印刷物の必要性再確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	資材部
産業廃棄物(有害)排出量削減 588kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 597kg/千万円	産業廃棄物排出量削減 588kg/千万円 1.5%削減	廃棄物を減らす意識改革 ※その他、手順書を参照	歩留り向上による削減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長		
			転用材の向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長
産業廃棄物(有害)排出量削減 105.35kg/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 108kg/千万円	産業廃棄物排出量削減 105.35kg/千万円 1.5%削減	廃棄物を減らす意識改革 ※その他、手順書を参照	PPバンド再利用	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長		
			廃棄物の分別	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	鈴木(監)

石塚工場・資材部 2024年度 環境目標・活動計画及び実績表

作成日:2024年7月31日



中期目標(2024年度)	2024年度目標 (2023.6.1~2024.5.31)	施策(対策)	取組内容	月												担当者	責任者
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
水使用量の削減 3.24m3/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 3.282m3/千万円	水使用量の削減 3.24m3/千万円 1.5%削減	節水意識の向上	節水の表示	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	小川
			節水の呼びかけ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
化学物質 使用量の削減 初稿の客先指定濃度 維持	化学物質使用量の維持	防錆液の客先指定濃度維持 SDSを入手し周知する	請求書から該当品の確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	森山
			真正濃度の確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
事業項目 輸入木材不良率低減 7.74%/千万円 1.5%削減 (2021年度基準) 7.8%	輸入木材不良率低減 7.740% 1.5%削減	使用材料の見直し	輸入先への改善要求	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課長
			顧客へ仕様変更の提案	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	不要物の撤去	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員
			表示の強化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
			通路と作業場の明確化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員の従属員

---> :計画 → :実施
評価(実施項目数) A : 90%以上 B : 80%以上 C : 70%以上 D : 69%以下

実施	28	27	28	26	25	28	27	28	27	28	28	28	28	28
計画	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
評価	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
確認	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山	石山
日付	6/28	7/31	8/30	9/30	10/31	11/29	12/27	1/31	2/28	3/31	4/30	5/30		

藤岡工場 2024年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2025年6月4日

承認	担当
工藤	岡村

中期目標(2024年度)	2024年度目標 (2024.6.1~2025.5.31)	施策(対策)	取組内容													担当者	責任者						
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5								
二酸化炭素排出抑制	電力消費量 2,959 kWh/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 3,004 kWh/千円	電力消費量 2,959 kWh/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 3,004 kWh/千円	節電効果の実行 (共通) ※詳細は電力消費量削減手順による	出荷量に合った稼働時間の適正化	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課課長	岡村				
				使用していない設備の電源オフ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各担当者		
				設備の負荷低減(清掃・メンテナンス)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	→	各担当者	
				使用していない場所の消灯	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	→	各担当者	
	ガソリン消費量 5.55 ℓ/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 5.61 ℓ/千円	ガソリン消費量 5.53 ℓ/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 5.61 ℓ/千円	無駄な運転を無くす ※詳細はエコドライブ推進手順による	乗り合い運転の推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		使用者	加藤(美)		
				外出は一度にまとめて行う	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→		使用者	
				現場差し替え品を流出させない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→		→	各課課長
	軽油消費量 62.87 ℓ/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 63.51 ℓ/千円	軽油消費量 62.56 ℓ/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 63.51 ℓ/千円	無駄な運転を無くす ※詳細はエコドライブ推進手順による	運搬作業以外ではエンジンを切る	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		資格者	新村		
				空荷の運行作業時間の削減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→		→	資格者
				レイアウトによる搬送距離の短縮	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→		→	各課課長
				現場差し替え品を流出させない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→		→	各課課長
廃棄物排出抑制	一般廃棄物排出量削減 9.811 kg/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 9.910 kg/千円	一般廃棄物排出量削減 9.761 kg/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 9.910 kg/千円	コピー用紙の削減 ※詳細はコピー用紙削減手順による	進捗書類など両面印刷の推進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	使用者	高橋・長島				
				不必要な指示書は印刷しない	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	使用者		
				ネットワークを利用したペーパーレス	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	→	生産管理課	
				購入先からの梱包資材の軽減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	→	各課課長	
	産業廃棄物(合板)排出量削減 486 kg/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 491 kg/千円	産業廃棄物(合板)排出量削減 484 kg/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 491 kg/千円	廃棄物を減らす創意工夫 ※詳細は廃棄物削減手順による	端材利用と顧客への改善提案	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課課長	館野			
				歩留向上による端材削減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長	
				部材取り表を作成し明確にする	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長	
				規格の理解と実作業との整合	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長	
	産業廃棄物(廃77)排出量削減 169.19 kg/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 170.90 kg/千円	産業廃棄物(廃77)排出量削減 168.34 kg/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 170.90 kg/千円	廃棄物を減らす創意工夫 ※詳細は廃棄物削減手順による	過剰な梱包資材の購入低減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	各課課長	山岸			
				断熱材カットの歩留向上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	パネル課	
				バンド類の社内リサイクルの実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	全員	
				分別廃棄による全体量の低減	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	全員	
水使用量の節減 21.800 m3/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 22.020 m3/千円	水使用量の節減 21.690 m3/千円 1.5%削減 (2021年度基準) 22.020 m3/千円	節水対策の実行	水道のバルブによる水圧の調整	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	岡村	岡村				
			高圧洗浄機による清掃の実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	使用者		
			洗浄等は井戸水を使用する	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	使用者		
化学物質使用量の制御 必要なSDSを入手し維持管理する (2021年度基準) 必要なSDSを入手し維持管理する	化学物質使用量の制御 必要なSDSを入手し維持管理する (2021年度基準) 必要なSDSを入手し維持管理する	該当品の適正管理と運用	SDSを定期的に更新を確認する	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	岡村	岡村				
			適正な保管や取扱いへの確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	各課課長		
事業項目:カッタ製木材の不良率低減 6.60% 1.5%削減 (2021年度基準) 6.67%	カッタ製木材の不良率低減 6.57% 1.5%削減 (2021年度基準) 6.67%	規格の明確化と材料の見直し	担当者へ基準の理解を深める	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	新村	新村				
			購入先への現状報告と改善要求	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		→	新村		
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	ゴミの分類から置場の識別管理	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	全員	岡村			
			主要物に対する埃の除去(電気・設備)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員		
			識別による状態確認が出来る	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		全員		

→ : 計画
 → : 実施
 評価(実施項目数) A : 95%以上 B : 85%以上 C : 75%以上 D : 74%以下

実施	18	18	20	19	17	20	16	14	17	22	19	19
計画	22	25	27	24	24	25	26	22	27	25	27	23
評価	C	C	D	C	D	C	D	D	D	B	D	C
確認	富	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡
日付	7/8	8/8	9/11	10/8	11/8	12/6	1/9	2/7	3/7	4/10	5/9	6/11

本社 2024年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2024年6月23日

承認	担当

中期目標(2024年度)	2024年度目標 (2024.6.1~2025.5.31)	施策(対策)	取組内容	取組項目にチェック✓											担当者	責任者				
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			5			
二酸化炭素排出抑制	電力消費量		節電意識の高揚	お昼休み消灯	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	牧野
	12,284 KWh	12,284 KWh		照明の引き点灯	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	3%削減	3%削減		扇風機やサーキュレーターの有効活用	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	(2021年度基準)	(2021年度基準)		ブラインド等で日差しを調節	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	12,664 KWh	12,664 KWh		NO残業デー実施によるパソコンやプリンターの使用時間削減	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	ガソリン消費量		エコドライブの推進 (詳細はエコドライブ手順書による)	アイドリング・ストップの励行	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	牧野
	4,380.54L	4,380.54L		法定速度を順守する	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	3%削減	3%削減		急発進・急停止を避ける	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	(2021年度基準)	(2021年度基準)		早めのアクセルオフ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	4,516.02 L	4,516.02 L		外出業務の集約・効率化を図る 予定に余裕を持った行動	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
	灯油消費量		節約意識の高揚	車内の整理(不要な荷物は積まない)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	牧野
	121.25	121.25		ファンヒーターの使用時間の限定 エアコンとの併用による効率化	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	
3%削減	3%削減																			
(2021年度基準)	(2021年度基準)																			
125.00L	125.00L																			
液化石油ガス(LPG)消費量		節約意識の高揚	必要な給湯量を意識し燃焼時間を短縮(ガスコンロ)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	荒川・岡村	岡村	
6.42kg	6.42kg		洗い物の回数削減(ガス給湯器の使用時間の短縮)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	荒川・岡村		
3%削減	3%削減		ガス給湯器の冬季のみの使用	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	荒川・岡村		
(2021年度基準)	(2021年度基準)																			
6.62kg	6.62kg																			
一般廃棄物排出量削減		コピー用紙の削減 (詳細はコピー用紙削減手順書による)	裏紙使用率の向上	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	岡村	
260kg	260kg		コピー機使用後のリセット習慣	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員		
3%削減	3%削減		印刷前に確認	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員		
(2021年度基準)	(2021年度基準)		社内で使用する封筒は使用済み封筒を再利用	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		全員
268kg	268kg																			
水使用量節減		節約意識の高揚	洗い物回数の削減、効率化	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	岡村	
80.1㎡	80.1㎡		水漏れの定期点検	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員		
3%削減	3%削減		節水ポスターの掲示の強化	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員		
(2021年度基準)	(2021年度基準)																			
82.6㎡	82.6㎡																			
5Sの推進		事務所、倉庫の整理・整頓	不要物の処分	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	全員	牧野	
			「5S活動」のポスター掲示	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	牧野		
			取納の工夫	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		全員
				実施項目	24	24	25	25	24	24	25	25	24	25	24	24				
				評価	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
				確認																
				日付	7/12	8/8	9/13	10/11	11/8	12/13	1/16	2/14	3/14	4/11	5/16	6/10				

評価(実施項目数)

A: 22以上 B: 17以上 C: 12以上 D: 11以下

7.環境経営目標の実績

全事業所、2024年6月～2025年5月の実績である。

1) 石塚工場・資材部

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,634	3,960	326.00	8.97%	未達
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	43.00	43.00	0.00	0.00%	未達
③軽油使用量(ℓ/千万円)	64.39	67.00	2.61	4.05%	未達
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	2,153	2,346	193	8.96%	未達
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	8.31	7.58	-0.73	-8.76%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	597	458.48	-139	-23.20%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	108	30.746	-77	-71.5%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	3.292	3.000	-0.29	-8.87%	達成
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	達成	達成	達成		達成
⑩輸入木材の不良率低減(%)	7.85	7.3	-0.55	-7.01%	達成

2) 藤岡工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,004	2,632	-372	-12.38%	達成
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	5.61	4.02	-1.59	-28.34%	達成
③軽油使用量(ℓ/千万円)	63.51	54.86	-8.65	-13.62%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	1,763	1,654	-109	-6.18%	達成
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	9.910	7.653	-2.257	-22.77%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	491	527	36	7.33%	未達
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	170.9	36.17	-134.73	-78.84%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	22.020	2.171	-19.849	-90.14%	達成
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩2×4材の不良率(%)	6.7	9.18	2.48	37.01%	未達

3) 足利工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	1,413	1,780	367	26.0%	未達
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	8.86	0.00	-8.86	-100.0%	達成
③軽油使用量(ℓ/千万円)	49.00	43.07	-5.93	-12.1%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	999	1,130	131	13%	未達
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	2,759	3,103	0.344	12.5%	未達
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	173	161	-12	-6.9%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	242.07	240.41	-2	-0.7%	達成
⑧総排水量(m ³ /千万円)	3,293	3,079	-0.214	-6.5%	達成
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩パネルの不良率(%)	0.0310	0.0000	-0.031	-100.0%	達成

4) 宮城工場

項 目	基準	実績	基準との差		評価
①電気使用量(kwh/千万円)	3,898	3,160	-738	-18.9%	達成
②ガソリン使用量(ℓ/千万円)	18.27	21.80	3.53	19.3%	未達
③軽油使用量(ℓ/千万円)	91.64	78.54	-13.10	-14.3%	達成
④二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /千万円)	2,036	1,860	-176	-8.64%	達成
⑤一般廃棄物排出量(kg/千万円)	8,360	7,920	-0.440	-5.3%	達成
⑥産業廃棄物(木材)排出量(kg/千万円)	203	0	-203	-100.0%	達成
⑦産業廃棄物(廃プラ)排出量(kg/千万円)	236	288	52	22%	未達
⑧総排水量(m ³ /人)	0.75	0.8879	0.1	18.4%	未達
⑨化学物質使用量の制御(kg/千万円)	維持	維持	維持		維持
⑩内壁枠不具合の低減(%)	0.03	0.018	-0.01	-40.0%	達成

5) 本社

項 目	基 準	実 績	基準との差		評 価
①電気使用量(kwh)	12,664.00	14,958.00	2,294.00	18.11%	未達
②ガソリン使用量(%)	4,516.02	4,201.99	-314.03	-6.95%	達成
③灯油使用量(%)	125.00	0.00	-125.00	-100.00%	達成
④液化石油ガス(LPG)使用量(kg)	6.62	5.96	-0.66	-9.97%	達成
⑤二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	16,540.00	16,520.00	-20.00	-0.12%	達成
⑥一般廃棄物排出量(kg)	268.00	235.00	-33.00	-12.31%	達成
⑦総排水量(m ³)	82.60	76.95	-5.65	-6.84%	達成

* 本社は電気の排出係数:0.451kgCO₂/kWhを使用(令和5年公表の東京電力エナジーパートナーの排出係数)

* 石塚、藤岡、足利、宮城の各工場は電気の排出係数:0.431kgCO₂/kWhを使用(令和5年公表の大和ハウス工業の排出係数)

8. 主な環境負荷実績(2021～2024年度)

			2021年	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量	電力使用量 単位:Kwh	藤岡工場	571,003	551,175	620,964	653,428
		石塚工場	555,877	508,298	497,638	511,387
		足利工場	81,948	76,727	74,294	75,708
		宮城工場	294,845	292,329	287,964	247,444
		本 社	12,664	13,197	13,722	14,958
		合 計	1,516,337	1,441,726	1,494,582	1,502,925
	化石燃料 ガソリン・軽油 単位:ℓ	藤岡工場	14,151	12,059	13,799	14,618
		石塚工場	15,233	15,154	14,297	14,281
		足利工場	3,356	2,827	2,550	1,832
		宮城工場	8,314	7,917	8,202	7,856
		本 社	4,516	5,544	5,038	4,202
		合 計	45,570	43,501	43,886	42,789
	二酸化炭素 単位:kg-CO2	藤岡工場	362,375	346,359	390,685	410,727
		石塚工場	355,472	303,648	295,842	302,953
		足利工場	55,458	51,127	49,002	48,074
宮城工場		189,768	152,888	150,605	129,413	
本 社		16,540	19,029	17,994	16,520	
合 計		979,613	873,051	904,128	907,687	
廃棄物排出量 単位:t	藤岡工場	128	99	127	142	
	石塚工場	56	84	88	64	
	足利工場	24	24	17	17	
	宮城工場	33	28	19	17	
	本 社	0.32	0.29	0.21	0.24	
	合 計	242	235	251	240	
総排水量 単位:m ³	藤岡工場	4,185	562	512	539	
	石塚工場	410	561	424	412	
	足利工場	191	183	164	131	
	宮城工場	307	309	324	309	
	本 社	83	98	78	77	
	合 計	5,176	1,713	1,502	1,468	
化学物質使用量 単位:kg	藤岡工場	0	0	0	0	
	石塚工場	432	109	109	118	
	足利工場	130	171	92	76	
	宮城工場	90	91	73	66	
	本 社	0	0	0	0	
	合 計	652	371	274	260	

9.環境活動の取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 環境活動の取組結果の評価

① 二酸化炭素排出量の削減

石塚工場・資材部

電力消費量が+326KWH/千万円、軽油消費量が+2.61L/千万円となり、二酸化炭素排出量が+193kg-co2/千万円となった。電力消費量については、取組内容を概ね実施しているが、業務終了後に工場の照明が消灯されていなかったり、生産性向上についても思うようにいかない部分はあったように思う。ガソリン消費量については、基準の数字より削減することはできなかったが、±0L/千万円という結果になった。顧客様訪問の機会が多かった。軽油については、出荷内容、原単位となっている売上の数字は昨年度とあまり変化がないが、差は縮まっている。取組内容を強化し、さらに削減できるように取り組む。

藤岡工場

○電力消費量については基準 3,004 KWh/千万円に対し、実績 2,632 KWh/千万円で-327KWh/千万円、-12.4%で目標を達成した。昨年同様に設備使用割合が少ない新規事業の売上が増加しており、原単位での電力使用量の減少に寄与している。
○ガソリン消費量については基準 5.61L/千万円に対し、実績 4.02L/千万円で-1.59L/千万円、-18.35%の数値で目標達成である。昨年取り組みをした不用意な外出や乗り合い乗や現場への差し替えなども少なかったため、減少したと思う。
○軽油消費量については基準 63.51L/千万円に対し、実績 54.86L/千万円で-8.65L/千万円、-13.62%で目標達成を達成した。材料の置き方を見直し、最短距離で搬送する工夫もしていた。

足利工場

・基準999kg-co2/千万円に対し、1,130kg-co2/千万円と基準値に対して+131kg-co2/千万円で目標未達成となった。環境への負荷の状況を見てみるとCO2排出量は電力以外は減少し、全体を占める割合からも電力のCO2排出量約86.6%に対し、今年度は89.9%と+3.3%、ガソリンは2.00%→0.00%、軽油が11.4%→10.0%、LPGは0.05%→0.10%となり、LPGは微増ではあるが、電力以外は減少したことが伺える。その内訳をみると、電力は前年対比で出荷量が96.5%になり、それに伴い作業人員数の調整を行った結果、稼働時間が増え生産性も伸び悩んだことが主な要因である。ガソリンについては、事業所で所有する社用車登録が無くなった為、実績は0.00L/千万円となり達成率では100%となったが、社用車以外の活動で自家用車での外出時には速度順守などの働きかけを行った。又、軽油については出荷量が多い時期は効率的にフォークリフトを稼働し軽油使

宮城工場

・電力消費量については基準3,898Kwh/千万円に対し、実績3,160Kwh/千万円と18%減で目標を達成した。基準年と比べると木材価格が上昇しており売上が上昇したこと、残業時間の稼働が減ったこと、全員の節電意識が高まり節電の効果が出てきている。
ガソリン消費量は基準18.27ℓ/千万円に対し、実績21.80ℓ/千万円と19.3%増となり目標未達となった。構内新規作業に伴う研修の行き来、
設備導入に伴い業者の行き来が増えたことが原因。
軽油消費量は基準91.64ℓ/千万円に対し、実績78.54ℓ/千万円と14%減と目標を達成した。リフトの台数を1台減らしたことで、除

本社

本社建物の利用環境の変化により、電気消費量が大幅に増加してしまい目標未達成となったが、他の項目の達成率が高く(特に灯油消費量はゼロを達成)、結果として、差し引きで基準はわずかに達成したが、目標には届かなかった。
当面は電気消費量の基準を見直して、目標達成に努めたい。また、今期9月に電気自動車を導入したので効果も検証していく。

② 廃棄物排出量の削減

石塚工場・資材部

一般廃棄物排出量が-0.728kg/千万円、産業廃棄物(木材・廃プラ)が-216.25kg/千万円となった。昨年度に引き続き、印刷前に内容確認を行い誤出力を防ぐなどの取り組みを個々が確実に行った結果が成果として出ている。顧客様の要望により、階層別にリストを出力することになり、使用量増加が見込まれたため、基準値の是正を行った。また、階層別リスト出力の範囲が今後拡大する見込みのため、更に検討が必要になる。産業廃棄物については特段樹種の変更もなかった為、取組内容が反映する結果となった。引き続き削減できるように継続していく。

藤岡工場

○産業廃棄物の木材(合板)については基準 491kg/千万円に対し、実績 509kg/千万円で+18kg/千万円、+3.66%と目標を下回った。端材の有効利用は継続して行えたが一部デッドストックとなったものが今後使用しない可能性があった為、廃棄物として処分したことにより、増加したものと考ええる。
○廃プラについては基準 170.9kg/千万円に対し、50.38kg/千万円と-120.52kg/千万円、-70.52%と目標を大きく上回る結果となった。主な要因は主に社内で減容したシートを4回ほど産廃業者で処分したが処分しきれないものもある為、結果、減少したと思われる。また、どの材料メーカーも梱包材の合理化を行っている事もあり今までは重い素材のシートを使っていたが軽量のビニールなど

足利工場

一般廃棄物は基準 2.759kg/千万円に対し実績 3.100kg/千万円で+0.341kg/千万円(+12.4%)となり未達成だった。昨年同様、裏紙の使用や、電子媒体等の取組みを行ったが、コピー用紙の使用量が原単位で上回っている為、目標達成には至らなかった。木材は基準 173kg/千万円に対し実績 161kg/千万円で-12kg/千万円、-6.9%となり目標達成となった。要因としては主となる合板の端材の製品化や生産で発生する製作ミスをその場で手直しすることによって廃棄合板が減量したことが挙げられる。廃プラは基準 242.07kg/千万円に対し、実績 240.41kg/千万円で -2kg/千万円、-0.7%となったが、目標である238.44kg/千万円には届かなかった。要因としては断熱材加工で原反から製品を取る歩留向上が一因としてあるが、その一方で新商品による歩留悪化も

宮城工場

・一般廃棄物は基準8.36kg/千万円に対し7.92kg/千万円と5.3%減で目標を達成できた。紙の再利用の意識が高まり、効果が出ている。
木材は基準203kg/千万円に対し0kg/千万円と100%減で目標を達成できた。昨年同様に有価で木材の端材を引き取ってもらっている。

本社

事務用品の在庫調整、適切な場所への収納等、整理整頓が出来ており、電子帳簿保存法の効果で、保管書類がかなり減少している。取り組みへの乱れが無いように引き続き進めていきたい。

③ 水使用量の削減

石塚工場・資材部

前年度は防腐の品種が増加し、基準値の是正を行ったが、是正が適切であったと判断できる結果(-8.87%)となった。取組内容を徹底し、引き続き削減に向けて模索していく。漏水についても注視していく。

藤岡工場

基準 22.02m³/千万円に対し、2.281m³/千万円と-19.739m³/千万円、-89.64%と目標を大きく上回る結果となった。主な要因は4年前に行った古い水道管からの漏水修繕工事から1年が経ち適正な水使用量に戻った為である。この使用量が標準的な使用量だと考えられる。

足利工場

・基準 3.293m³/千万円に対し、3.079m³/千万円と -0.214m³/千万円、-6.5%となった。使用量としては昨年164m³に対し、131m³と-33m³下がっており目標達成となった。理由としては従業員数が昨年度比較で3名減になったことが主な理由である。年間通じて漏水の事案も発生していない。

宮城工場

・基準0.75m³/人に対し実績0.88m³/人で18.4%増と目標未達となりました。基準年と比べると従業員が減り一人当たりの割合が増えたことと水道管が破損し修理まで漏れていたことが要因です。継続して節水を心がけていきます。

本社

基準-6.84%の実績となり、昨年度に続き目標も達成となった。
共有部での注意喚起の効果が出ており、建物共用利用者への意識の改善に繋がったと思われる。
改善意識が崩れないように継続していきたい。

④ 化学物質使用量の制御

石塚工場・資材部

引き続き防腐液の客先指定濃度の維持を徹底していく

藤岡工場

購入品に対する化学物質の把握から必要なSDSを入手し管理台帳を付けることによって維持管理を行った。又、安全衛生委員会等で保管方法や取り扱いについての確認を行い、適切な方法で保管・使用することが出来た。

足利工場

・基準 2.86kg/千万円に対し1.85kg/千万円と-35.3%となったが、1回/月の防腐液濃度検査や付着量検査の値からも特に問題なかった為、使用量も適正と考える。

宮城工場

毎月1回 防腐済みの試験片を検査機関へ郵送し薬剤の使用量が適正か否かを検査し、管理しています。引き続き、使用量を適正な管理を行い、過剰な使用は、絶対行わない事を徹底する。

⑤ 事業項目

石塚工場・資材部

不良率基準7.85%に対して実績7.74%と-7.01%削減達成となった。不良材の転用に力を入れており、現地サプライヤーに積極的に改善案を投げかけている。今後も継続していく。

藤岡工場

不良率の基準値 6.7%に対し実績としては9.18%で+2.7%となった。以前から改善できるように購入先と話し合いをしてきたが一向に改善しない為、他メーカーに切り替えたところ昨年の不良率12.2%⇒9.18%と3.02%減少した。

足利工場

・基準 0.031%/千万円に対して実績は、0.000%/千万円で目標達成となった。昨年度に引き続き工程内で発生した不良品は、発生した時点で手直し作業を行い不良品廃棄をゼロにした結果、不良率もゼロとなっている。この作業については今後も継続していく。

宮城工場

・内壁枠生産不具合率は基準0.03%、実績0.018%となり目標を達成できた。工程間の不具合情報の交換を密に行い原因と対策を速やかに行うことが出来てきている。今後も継続して取り組みます。

⑥ その他

石塚工場・資材部

現状維持はできているが、活動内容がマンネリ化しており、進展というほどまでは活動できていなかったように思う。どういう目的で行っているのか、ただの掃除になっていないか、外部講習等を用いて従業員の認識を高められるようにする。

藤岡工場

工場内に木材の端材が保管されているが使用できない状態で保管されているものもある為、工場内、または他工場でも転用できないと判断した場合は処分するなども考えるようにする。

足利工場

・毎日の5S活動により工場の建屋内や敷地内に不要な物が除去され、整理・整頓が行き届いている状態を維持することが出来た。来年度は従業員が興味を持ち自ら活動しやすい環境を作り上げていく。

宮城工場

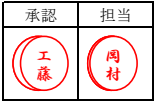
・5S活動については管理者のパトロールのみではなく、顧客に1回/月のパトロールを実施してもらっています。細かいところまで指摘してもらうことにより5Sの意識向上につながるような活動を行っております。

本社

電子帳簿保存法や業務の変化に合わせて対応した結果、削減に繋がる活動となった。今回課題となった電気消費量の削減を念頭に、人員の増が見込まれる部分もあり、変化が続くので、それらに対応し、継続して活動が行えるよう努めていきたい。

藤岡工場 2025年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日:2025年6月4日



中期目標(2027年度)	2025年度目標 (2025.6.1~2026.5.31)	施策(対策)	取組内容													担当者	責任者				
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5						
電力消費量 2,593KWh/千万円 1.5%削減 (2024年度基準) 2,632 KWh/千万円	電力消費量 2,619KWh/千万円 0.5%削減	節電効果の実行 <共通> ※詳細は電力消費量削減手順による	出荷量に合った稼働時間の適正化	-->														各課課長	岡村		
			使用していない設備の電源オフ	-->																各担当者	
			設備の負荷低減(清掃・メンテナンス)	-->																	各担当者
			使用していない場所の消灯	-->																	各担当者
ガンリン消費量 3.96 ℓ/千万円 1.5%削減 (2024年度基準) 4.02 ℓ/千万円	ガンリン消費量 4.00 ℓ/千万円 0.5%削減	無駄な運転を無くす ※詳細はエコドライブ推進手順による	省エネタイプの設備入替	随時												工場長	長島				
			乗り合い運転の推進	-->																使用者	
			外出は一度にまとめて行う	-->																	使用者
			アイドリングストップ	-->																	使用者
軽油消費量 54.04 ℓ/千万円 1.5%削減 (2024年度基準) 54.86ℓ/千万円	軽油消費量 54.59 ℓ/千万円 0.5%削減	無駄な運転を無くす ※詳細はエコドライブ推進手順による	運搬作業以外はエンジンを切る	-->														資格者	新村		
			空荷の運行作業時間の削減	-->																資格者	
			アイドリングストップ	-->																	各課課長
一般廃棄物排出量削減 7.538 kg/千万円 1.5%削減 (2024年度基準) 7.653kg/千万円	一般廃棄物排出量削減 7.615 kg/千万円 0.5%削減	コピー用紙の削減 ※詳細はコピー用紙削減手順による	進捗書類など両面印刷の推進	-->														使用者	長		
			不必要な指示書は印刷しない	-->																使用者	
			ネットワークを利用したペーパーレス	-->																	生産管理課
			裏紙の使用	-->																	各課課長
産業廃棄物(合板)排出量削減 519 kg/千万円 1.5%削減 (2024年度基準) 527 kg/千万円	産業廃棄物(合板)排出量削減 524 kg/千万円 0.5%削減	廃棄物を減らす創意工夫 ※詳細は廃棄物削減手順による	端材利用と顧客への改善提案	-->														各課課長	館野		
			歩留向上による端材削減	-->																各課課長	
			部材取り表を作成し明確にする	-->																	新村
産業廃棄物(廃フ)排出量削減 35.63 kg/千万円 1.5%削減 (2024年度基準) 36.17 kg/千万円	産業廃棄物(廃フ)排出量削減 35.99 kg/千万円 0.5%削減	廃棄物を減らす創意工夫 ※詳細は廃棄物削減手順による	過剰な梱包資材の購入低減	-->														各課課長	新村		
			バンド類の社内リサイクルの実施	-->																全員	
			分別廃棄による全体量の低減	-->																	全員
水使用量の節減 2.138 m3/千万円 1.5%削減 (2024年度基準) 2.171 m3/千万円	水使用量の節減 2.160 m3/千万円 0.5%削減	節水対策の実行	節水への理解、協力	-->														全員	柴崎		
			節水の表示	-->																柴崎	
化学物質使用量の抑制 必要なSDSを入手し維持管理する (2024年度基準) 必要なSDSを入手し維持管理する	化学物質使用量の抑制 必要なSDSを入手し維持管理する	該当品の適正管理と運用	SDSを定期的に更新を確認する	-->														高橋	高橋		
			適正な保管や取扱いへの確認	-->																各課課長	
事業項目:2×4材の不良率低減 9.04% 1.5%削減 (2024年度基準) 9.20%	2×4材の不良率低減 9.13% 0.5%削減	規格の明確化と材料の見直し	担当者へ基準の理解を深める	-->														山岸	山岸		
			購入先への現状報告と改善要求	-->																山岸	
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	ゴミの分類から置場の識別管理	-->														全員	長島		
			主要物に対する埃の除去(電気・設備)	-->																全員	
			識別による状態確認が出来る	-->																	全員

--> :計画 → :実施

評価(実施項目数) A : 95%以上 B : 85%以上 C : 75%以上 D : 74%以下

実施																	
計画																	
評価																	
確認																	
日付																	

承認 担当

足利工場 2025年度 環境経営目標・活動計画及び実績表

作成日: 2025年7月25日

承認	担当
工藤	晶山

中期目標(2025年度)	2025年度目標 (2025.6.1~2026.5.31)	施策(対策)	取組内容	2025年度												担当者	責任者				
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5						
電力消費量 1,771KWh/千万円 0.5%削減 (2024年度基準) 1,780KWh/千万円	電力消費量 1,771KWh/千万円 0.5%削減	節電に対する意識行動 (詳細は電力消費量削減手順による)	昼休み消灯														→	沖中	沖中		
			空調設備(扇風機含む)の調節															→		小峰	
			稼働していない設備は電源を切る																	→	各担当者
			始業時の設備電源一斉立上げの抑制																	→	沖中
			デマンド値の警告監視																	→	小峰
ガソリン消費量 0.00L/千万円 0.5%削減 (2024年度基準) 0.00L/千万円	ガソリン消費量 0.00L/千万円 0.5%削減	施策なし ※所有する社用車の登録なし	取組みなし														→		晶山		
			※所有する社用車の登録が無い為															→			
			※自家用車への注意喚起																	→	晶山
軽油消費量 42.85L/千万円 0.5%削減 (2024年度基準) 43.07L/千万円	軽油消費量 42.85L/千万円 0.5%削減	フォークリフトの適切な運行 (詳細はエコドライブ手順による)	リフト作業以外はスイッチを切る														→	小川	小川		
			不必要なスピードは出さない															→		小川	
			物流動線の改善																	→	小川
一般廃棄物排出量削減 3.088kg/千万円 0.5%削減 (2024年度基準) 3.103kg/千万円	一般廃棄物排出量削減 3.088kg/千万円 0.5%削減	コピー用紙の削減 (詳細はコピー用紙削減手順による)	必要に応じて裏紙の再利用														→	利用者	小峰		
			指示書や資料などの両面印刷推進															→		小峰	
			印刷媒体の見直しと改善																	→	小峰
																				→	
産業廃棄物排出量(木材)削減 160kg/千万円 0.5%削減 (2024年度基準) 161kg/千万円	産業廃棄物排出量(木材)削減 160kg/千万円 0.5%削減	廃棄物を減らす提案 (詳細は廃棄物削減手順による)	釘付木材の解体、分別														→	各担当者	晶山		
			材料取りによる歩留向上															→		沖中	
			端材による製品化																	→	晶山
			原材料見直しによる提案(1件/年)																	→	晶山
産業廃棄物排出量(廃プラ)削減 239.21kg/千万円 0.5%削減 (2024年度基準) 240.41kg/千万円	産業廃棄物排出量(廃プラ)削減 239.21kg/千万円 0.5%削減	現状を変える廃棄方法の模索	構内でのPPバンドの再利用														→	各担当者	沖中		
			養生シートの削減化															→		沖中	
			プラシート釘からワイヤー釘への変更																	→	沖中
水使用量の節減 3.064m3/千万円 0.5%削減 (2024年度基準) 3.079m3/千万円	水使用量の節減 3.064m3/千万円 0.5%削減	節水意識の向上 (詳細は節水手順による)	節水の表示														→	小峰	小峰		
			漏水に関する定期監視																	→	小峰
化学物質 防腐液の指定付着量の維持	使用量の制御 防腐液の指定付着量の維持	防腐液の指定付着量の維持	防腐剤使用量の確認														→	沖中	沖中		
			防腐剤分析試験表の確認															→		沖中	
			SDSの認識と管理の徹底																	→	晶山
事業項目 パネル不良率低減 0.0000% 0.5%削減 (2024年度基準) 0.0000%	パネル不良率低減 0.0000% 0.5%削減	不良を出さない仕組み作り	不良が発見された時の原因追及														→	宗崎	宗崎		
			材料の投入向き確認															→		宗崎	
																				→	
5Sの推進	5Sの推進	工場の整理・整頓	5S時間の有効活用(安全・品質・環境面)													→	全員	沖中			
法令順守状況		チェックシート、点検表の記入	マニフェストの返送状況管理														→	小峰	沖中		
			浄化槽点検記録の確認															→		小峰	
			騒音測定															→		沖中	
			エアコン自主点検															→		沖中	

計画: --->

実施: 25

活動項目	25	25	24	24	24	23	25	26	24	24	26	22		
実施項目														
実施割合														
評価														
確認														
日付														

評価(実施項目数) A:95%以上 B:85%以上 C:75%以上 D:50%以下

3) 中期環境経営目標 (2025年度～2027年度)

1) 石塚工場・資材部

	項目	2024年度基準	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
		(2024年6月～ 2025年5月)	(2025年6月～ 2026年5月)	(2026年6月～ 2027年5月)	(2027年6月～ 2028年5月)
二酸化炭素削減に 関係する項目	電気使用量 (単位：kWh/千万円)	3,971	基準年-0.5% 3,953	基準年-1% 3,931	基準年-1.5% 3,911
	ガソリン使用量 (単位：リットル/千万円)	43.46	基準年-0.5% 43.26	基準年-1% 43.03	基準年-1.5% 42.81
	軽油使用量 (単位：リットル/千万円)	67.28	基準年-0.5% 66.98	基準年-1% 66.61	基準年-1.5% 66.27
	二酸化炭素排出量 (単位：kg-CO2/千万円)	1,875	基準年-0.5% 1,867	基準年-1% 1,856	基準年-1.5% 1,847
廃棄物削減に 関係する項目	一般廃棄物 (単位：kg/千万円)	8,000	基準年-0.5% 7,964	基準年-1% 7,920	基準年-1.5% 7,880
	産業廃棄物 木材 (単位：kg/千万円)	471	基準年-0.5% 469	基準年-1% 466	基準年-1.5% 464
	産業廃棄物 廃プラ (単位：kg/千万円)	50.3	基準年-0.5% 50.07	基準年-1% 49.57	基準年-1.5% 49.07
水使用量 (単位：m3/千万円)		3,212	基準年-0.5% 3,198	基準年-1% 3,180	基準年-1.5% 3,17
化学物質使用量の制御 防腐液の客先指定濃度の達成 許容範囲5%～6%		達成	達成	達成	達成
事業項目 ・SPF材の不良率低減 (単位：%)		7.3	基準年-0.5% 7.267	基準年-1% 7.23	基準年-1.5% 7.19

* 電気の排出係数：0.404kgCO2/kWhを使用（令和7年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

* 二酸化炭素排出量は2024年度の購入電力消費量（551,387kWh）に排出係数0.404を乗じた原単位。

* 原単位は工場売上高当りである。

3) 中期環境経営目標 (2025年度～2027年度)

2) 藤岡工場

	項目	2024年度基準	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
		(2024年6月～2025年5月)	(2025年6月～2026年5月)	(2026年6月～2027年5月)	(2027年6月～2028年5月)
二酸化炭素削減に係る項目	電力消費量 (単位:kWh/千万円)	2,632	基準年-0.5% 2,619	基準年-1% 2,606	基準年-1.5% 2,593
	ガソリン消費量 (単位:ℓ/千万円)	4.02	基準年-0.5% 4.00	基準年-1% 3.98	基準年-1.5% 3.96
	軽油消費量 (単位:ℓ/千万円)	54.86	基準年-0.5% 54.59	基準年-1% 54.31	基準年-1.5% 54.04
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	1,176	基準年-0.5% 1,170	基準年-1% 1,164	基準年-1.5% 1,158
廃棄物削減に係る項目	一般廃棄物排出量 (単位:kg/千万円)	7.653	基準年-0.5% 7.615	基準年-1% 7.576	基準年-1.5% 7.538
	産業廃棄物(合板)排出量 (単位:kg/千万円)	527	基準年-0.5% 524	基準年-1% 522	基準年-1.5% 519
	産業廃棄物(廃プラ)排出量 (単位:kg/千万円)	36.17	基準年-0.5% 35.99	基準年-1% 35.81	基準年-1.5% 35.63
	水使用量の節減 (単位:m3/千万円)	2.171	基準年-0.5% 2.160	基準年-1% 2.149	基準年-1.5% 2.138
	化学物質使用量の制御	必要なSDSを入手し維持管理する			
	事業項目・カナダ製木材の不良率低減 (単位:%)	9.2	基準年-0.5% 9.13	基準年-1% 9.09	基準年-1.5% 9.04

* 電気の排出係数：0.404kgCO2/kWhを使用（令和7年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

* 二酸化炭素排出量は2024年度の購入電力消費量（264,077kWh）に排出係数0.404を乗じた原単位

* 原単位は工場売上高当りである

3) 中期環境経営目標 (2025年度～2027年度)

3) 足利工場

項目	項目	2024年度基準	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
		(2024年6月～2025年5月)	(2025年6月～2026年5月)	(2026年6月～2027年5月)	(2027年6月～2028年5月)
二酸化炭素削減に係る項目	電気使用量 (単位：kWh/千万円)	1,780	基準年-0.5% 1,771	基準年-1% 1,762	基準年-1.5% 1,753
	ガソリン使用量 (単位：ℓ/千万円)	0.00	基準年-0.5% 0.00	基準年-1% 0.00	基準年-1.5% 0.00
	軽油使用量 (単位：ℓ/千万円)	43.07	基準年-0.5% 42.85	基準年-1% 42.64	基準年-1.5% 42.42
	二酸化炭素排出量 (単位：kg-CO2/千万円)	1,130	基準年-0.5% 1,124	基準年-1% 1,119	基準年-1.5% 1,113
廃棄物削減に係る項目	一般廃棄物 (単位：kg/千万円)	3.103	基準年-0.5% 3.088	基準年-1% 3.072	基準年-1.5% 3.057
	産業廃棄物 木材 (単位：kg/千万円)	161	基準年-0.5% 160	基準年-1% 159	基準年-1.5% 159
	産業廃棄物 廃プラ (単位：kg/千万円)	240.41	基準年-0.5% 239.21	基準年-1% 238.01	基準年-1.5% 236.80
	水使用量 (単位：m3/千万円)	3.079	基準年-0.5% 3.064	基準年-1% 3.048	基準年-1.5% 3.033
	化学物質使用量の制御 防腐液の指定付着量の維持	—	維持	維持	維持
	事業項目： パネルの廃棄率を低減させる (単位：%)	0.0000	基準年-0.5% 0.0000	基準年-1% 0.0000	基準年-1.5% 0.0000

*電気の排出係数：0.404kgCO2/kWhを使用（令和7年度公表の大和ハウス工業の排出係数）

*原単位は工場売上高当りである

3) 中期環境経営目標 (2025年度～2027年度)

4) 宮城工場

項目	項目	2024年度基準	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
		(2024年6月～2025年5月)	(2025年6月～2026年5月)	(2026年6月～2027年5月)	(2027年6月～2028年5月)
二酸化炭素削減に係る項目	電気使用量 (単位:kWh/千万円)	2,928	基準年-0.5% 2,915	基準年-1% 2,899	基準年-1.5% 2,884
	ガソリン使用量 (単位:ℓ/千万円)	17.20	基準年-0.5% 17.12	基準年-1% 17.03	基準年-1.5% 16.94
	軽油使用量 (単位:ℓ/千万円)	80.02	基準年-0.5% 79.62	基準年-1% 79.22	基準年-1.5% 78.82
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2/千万円)	2,658	基準年-0.5% 2,645	基準年-1% 2,632	基準年-1.5% 2,619
廃棄物削減に係る項目	一般廃棄物 (単位:kg/千万円)	9.697	基準年-0.5% 9.649	基準年-1% 9.600	基準年-1.5% 9.552
	産業廃棄物 木材 (単位:kg/千万円)	1042	基準年-0.5% 1037	基準年-1% 1032	基準年-1.5% 1026
	産業廃棄物 廃プラ (単位:kg/千万円)	265.57	基準年-0.5% 264.24	基準年-1% 262.91	基準年-1.5% 261.59
	水使用量 (単位:m3/人)	10.537	基準年-0.5% 10.484	基準年-1% 10.431	基準年-1.5% 10.379
	化学物質使用量の制御 防腐液も客先指定濃度の維持	—	維持	維持	維持
	事業項目・内壁枠 生産不具合率 低減させる (単位:%)	0.02	基準年-0.5% 0.0193	基準年-1% 0.0192	基準年-1.5% 0.0191

*電気の排出係数:0.404gCO2/kWhを使用(令和7年度公表の大和ハウス工業の排出係数)

*二酸化炭素排出量は2024年度の購入電力消費量(247,444kWh)に排出係数0.404を乗じた原単位

*原単位は工場売上高当りである

3) 中期環境経営目標 (2025年度～2027年度)

5) 本社

	項目	2024年度基準	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
		(2024年6月～ 2025年5月)	(2025年6月～ 2026年5月)	(2026年6月～ 2027年5月)	(2027年6月～ 2028年5月)
二酸化炭素削減に係る項目	電気使用量 (単位:kWh)	14,958	基準年-1% 14,808	基準年-2% 14,659	基準年-3% 14,509
	ガソリン使用量 (単位:ℓ)	4,201.99	基準年-1% 4159.97	基準年-2% 4117.95	基準年-3% 4075.93
	液化石油ガス(LPG) 使用量(単位:kg)	5.96	基準年-1% 5.90	基準年-2% 5.84	基準年-3% 5.78
	二酸化炭素排出量 (単位:kg-CO2)	16,520	基準年-1% 16,355	基準年-2% 16,190	基準年-3% 16,024
廃棄物削減に係る項目	一般廃棄物 (単位:kg)	235	基準年-1% 233	基準年-2% 230	基準年-3% 228
	水使用量 (単位:m3/千万円)	76.95	基準年-1% 76.18	基準年-2% 75.41	基準年-3% 74.64

* 電気の排出係数：0.421kgCO2/kWhを使用（2024年公表の東京電力の排出係数）

* 化学物質の使用はない為、目標として取り上げていない

* 灯油使用量0リットルを達成した為、2025年より目標から除外

10.環境関連法規等の遵守の状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

全工場および本社は、2025年6月中に環境関連法規等の遵守状況を確認した結果違反は有りません。尚、関係当局からの違反の指摘も過去5年間無く、訴訟等も過去に1件も有りません。

・法令遵守のチェック

部門	遵守状況の確認
石塚工場・資材部	廃棄物処理法,PRTR法,騒音規制法,振動規制法,自動車Nox・PM法,省エネ法,フロン排出抑制法
藤岡工場	廃棄物処理法,PRTR法,騒音規制法,振動規制法,自動車Nox・PM法,省エネ法,フロン排出抑制法,浄化槽法
足利工場	廃棄物処理法,PRTR法,騒音規制法,振動規制法,自動車Nox・PM法,省エネ法,フロン排出抑制法,浄化槽法
宮城工場	廃棄物処理法,PRTR法,騒音規制法,振動規制法,省エネ法,フロン排出抑制法,浄化槽法
本 社	廃棄物処理法,省エネ法,フロン排出抑制法,浄化槽法,グリーンウッド法

各部署に於いて、以上の法律に関して遵守状況を確認し、違反・書類不備の無いことを確認した。

11.代表者による全体の評価と見直し指示

全体についての評価、今後への指示事項

製造部門(4工場)の一部で、二酸化炭素排出の削減未達成が発生している。やはり活動内容のみで達成できる目標が厳しくなっており、省エネ設備の導入し、二酸化炭素の排出削減へつなげていきたい。特にCo2排出に影響がある燃料消費が無い電気自動車や電動フォークリフトの導入を積極的に行う。電気代高騰が継続しており、引き続きコマメな節電(全従業員参加)も合わせ実施していく。

1、SBT認証の目標達成への取組み(顧客からサプライチェーンへの要望)

- ・2023年4月に申請取得している。
SBT認証の目標内容は2018年を基準年度とし、年間-4.2%/年を目標として2030年度に-50%を達成を目指すもので、それに準じた基準を検討したが、現状、既に従業員の活動による改善は頭打ちであり、これだけでは難しいとの結論に至った。その為、2025年度からのエコアクション21の中期環境経営目標は、従来の目標値(2024年基準 -0.5%~3%)を設定した。2030年までの目標達成の為にはクリーンエネルギー・省エネ設備(太陽光、電気自動車・電動フォークリフト等)導入が必須であり、次年度 2026年度~2030年度までの目標を、各導入計画を考慮したうえで定める。

2、廃プラの有効的な再利用を検討する。

- ・現状産廃処理。引き続き有効な再利用を検討する。(継続課題)

3、弊社事業に係る関連会社の環境へ影響を及ぼす活動についても取組む。(継続課題)

環境経営方針	・環境経営方針は変更せずに継続します。
環境経営目標及び環境経営計画	・SBT認証の目標に準じて2025年度の二酸化炭素排出量目標を見直す計画だったが、再検討し、2025年度からの環境経営目標は従前の基準を用いたものとした。次年度(2026年度)以降は、省エネ設備等の導入計画を踏まえ見直しを行う。
実施体制	・代表取締役会長 篠崎 良三は社長を兼務しているが、環境実務担当として、エコアクション21の運営については専務取締役 岡 茂夫を責任者とする。 ・2024年度より環境管理責任者は宮城工場 業務課長 工藤勇也